

# 令和5年度予算編成方針

令和4年10月25日

山口市総合政策部

## 「元気山口 新たな歩み」予算

本市では、現在、令和5年度から令和9年度までを計画期間とする第二次山口市総合計画後期基本計画の策定を進めています。

この後期基本計画の5年間においては、まず、現在のコロナ禍における原油価格・物価高騰等により、市民生活や地域経済に影響が生じておりますことから、生活者や事業者へのきめ細やかな支援を図り、社会経済活動の回復につなげていく取組を全力で進めていく必要があります。

その上で、本市の人口動態について、農山村エリアにおける人口減少、若者の大都市圏への転出超過、少子高齢化の進展が依然として続いている中で、こうした流れに何としても歯止めをかけていくため、本市の都市政策の柱である「個性と安心の21地域づくり」と「広域県央中核都市づくり」を中心とした施策展開を図ります。こうした中、新市発足以降の県都山口の発展に向けて進めてきたこれまでの取組を引き続き進めつつ、山口都市核づくりを本格化し、全ての地域に安心して住み続けられる、農山村と都市が共存共栄するまちづくりを実現していく必要があります。

同時に、教育・子育て、医療・介護、防災、交通、産業振興などのあらゆる施策分野において、環境の変化に対応し、市民の皆様の声を踏まえ、今の市民生活を豊かにし、安心して元気に暮らすことのできるまちづくりを進めていく必要があります。加えて、デジタル化や地域脱炭素などの新しい時代の流れをしっかりと捉えた事業展開を図ります。

こうした方向性で取組を進めることで、令和5年度から始まる後期基本計画においては、本市が築き上げつつある社会基盤の上で、地域や企業、個人などの多様な主体の未来への新たなチャレンジを、大学等の高等教育機関を始めとした多くの関係者と行政との連携のもとで支え、地域課題の解決や地域経済の活性化を図りつつ、誰もが活躍し、まちも人も、今も未来も、元気な山口の実現を図ります。

こうしたことから、後期基本計画の初年度となる令和5年度については、その新たな歩みを進め始める年度として、5つの政策グループにおける施策別計画の取組を検討し、同時に、重点的に対応を進める領域として、「子ども・子育て全力応援のまちづくり」、「若者活躍と雇用創出の環境づくり」、「人生100年時代に向けたまちづくり」、「21地域づくりと農山村活性化」、「元気な県都づくり」、「持続可能な未来都市づくり」などにおける取組を検討します。

そこで、令和5年度予算を、「元気山口 新たな歩み」予算と位置付け、事業のビルドアップスクラップの積極的な実施や、これまで積み立ててきた特定目的基金の活用など、政策的な経費等の確保を図り、後期基本計画が始まる年度にふさわしい事業展開が可能となる予算編成を進めます。併せて、国の総合経済対策や地方財政対策、県の「やまぐち未来維新プラン」の方向性、本市の地方創生の更なる取組などを踏まえた予算編成を進め、「ずっと元気な山口」の実現に向けたまちづくりを進めます。

○「子ども・子育て全力応援のまちづくり」

子育て世代から選ばれるまちづくりに向けて、子育てにかかる負担軽減を始めとした子ども・子育て支援や、子育て環境の充実を図るとともに、子どもたちが未来を切り拓くための生きる力を育む教育環境の充実に向けた取組を進めます。

○「若者活躍と雇用創出の環境づくり」

大都市圏への若者の転出超過の抑制につながる産業活力と雇用の創出に向けて、中小企業の成長支援、起業創業支援、企業誘致の推進、農林水産業の経営基盤強化や担い手育成などの取組とともに、若者の県内就職促進や女性の活躍促進、多様な働き方への対応を図る取組を進めます。

○「人生100年時代に向けたまちづくり」

あらゆる世代が生涯にわたって、元気で健康に暮らせるまちづくりに向けて、地域における包括的支援体制の構築や、地域医療提供体制の確保、高等教育機関等が多く立地する本市の特長を生かした学びのまちづくりなどを進めます。

○「21地域づくりと農山村活性化」

「個性と安心の21地域づくり」の取組として、協働によるまちづくりのもと、地域交流センターを中心に日常生活圏の維持・確保を図る取組を進めます。また、農山村エリアの転出超過ゼロを目指し、更なる定住促進に向けた取組の検討、地域資源を活用した地域経済活性化につながる取組の検討を進めます。

○「元気な県都づくり」

「広域県央中核都市づくり」の取組として、山口・小郡の両都市核づくりを進めつつ、両都市核周辺エリアにおける新たな居住環境の整備に向けた検討などを進めます。また、広域ネットワークの強化に向けて、JR山口線の利用促進や幹線道路の整備などを進めるとともに、コロナ禍以前の交流人口の回復に向けた交流創出の取組を進めます。

○「持続可能な未来都市づくり」

スマートシティや地域脱炭素、デジタル行政の取組を加速化するとともに、県農業試験場等の跡地や山口県立大学南キャンパスの跡地活用を始めとした公有地や公共施設等の積極的な活用による地域活性化を図ります。

**【予算要求基準 総括事項】**

- ・年間通年予算として編成することから、年間を通じて予定される全ての収入・支出を的確に把握して計上すること。
- ・6つの重点的に対応を進める領域における取組を十分に意識し、その達成に向けて部局横断的に予算の編成を行うと同時に、施策別包括的予算制度として各施策に配分する一般財源の範囲内で予算要求を行うこと。
- ・多様化する行政ニーズに対応したビルド＆スクラップ（新規事業を行う場合、既存事業を廃止）を積極的に行い、限りある財源を最も有効に活用した予算要求を行うこと。

## 「元気山口 新たな歩み」 予算

### 第二次山口市総合計画 後期基本計画

#### 誰もが活躍し まちも人も 今も未来も 元気な山口の実現を図る

本市が築き上げつつある社会基盤の上で、地域や企業、個人などの多様な主体の未来への新たなチャレンジを、大学等の高等教育機関を始めとした多くの関係者と行政との連携のもとで支え、地域課題の解決と地域経済の活性化を図る

- ・農山村と都市が共存共栄するまちづくり
- ・今の市民生活を豊かにし、安心して元気に暮らすことのできるまちづくり

- ・コロナ禍における原油価格・物価高騰等への全力の取組
- ・新しい時代の流れを捉えた事業展開

### 5つの政策グループにおける施策別計画の取組

#### 重点的に対応を進める領域

子ども・子育て全力応援のまちづくり

若者活躍と雇用創出の環境づくり

人生100年時代に向けたまちづくり

21地域づくりと農山村活性化

元気な県都づくり

持続可能な未来都市づくり

## 【収支試算（一般会計）】

（一般財源ベース：億円）

		令和 5 年度	令和 4 年度 (当初予算)	比 較
歳 入		546	576	△30
市	税	275	271	4
地 方	交 付 税	169	179	△10
臨 時	財 政 対 策 債	7	11	△4
基 金	繰 入 金	22	46	△24
	うち財政調整基金	0	13	△13
	うち特定目的基金	22	33	△11
そ の 他		73	69	4
歳 出		581	576	5
枠 対 象	義 務 的 経 費	381	382	△1
	人 件 費	134	140	△6
	公 債 費	101	100	1
	そ の 他	146	142	4
経 費	政 策 的 経 費	163	152	11
	維 持 ・ 固 定 経 費	125	118	7
	一 般 経 費	38	34	4
枠 対 象 外	プ ロ ジ ェ ク ト 経 費	25	30	△5
	一 時 的 ・ 期 限 付 経 費	12	12	0
財源不足額(※)		△35	0	△35

※令和 5 年度当初予算については、今後予算編成を進める中で、国等の補助制度の活用を図るとともに、更なる事業の精査を行うなど、歳入・歳出の両面から財源不足の解消に向けた取組を行うこととしています。

## 【スケジュール】

	第二次山口市総合計画後期基本計画の策定	令和5年度予算編成
令和4年度	<p>10月27日 後期基本計画の骨子案</p> <p>11月17日 後期基本計画の素案</p> <p>1月上旬 後期基本計画の最終案</p> <p>2月上旬 策定協議会からの答申</p> <p>2月中・下旬 第二次山口市総合計画後期基本計画の市議会への説明 令和5年度当初予算案の市議会への議案提出</p> <p>3月末 後期基本計画の策定</p>	<p>10月25日 令和5年度予算編成方針の発表</p> <p>11月2日 予算要求説明会</p> <p>11月28日 予算要求資料の提出締切</p> <p>1月中・下旬 令和5年度当初予算 市長査定</p> <p>2月上旬 令和5年度当初予算案の発表</p> <p>3月中旬 令和5年度当初予算案の市議会での議決</p>